年間の生活目標　「あいさつをしよう」　※目を見て、元気に、心を込めて

学校だより
大河小の風
自ら学ぶ子・やさしい子・たくましい子
平成３０年７月２０日　発行

一学期が無事終了、有意義な夏休みを！

校長　鷲巣（わしのす）　明喜（あきよし）

新学期がスタートしてから３ヶ月あまり、子供たちはそれぞれに成果を上げるとともに大きな怪我や事故もなく一学期を終了することができました。皆様には、学校の教育活動への御支援・御協力、誠にありがとうございました。また、たくさんの防犯パトロール隊の皆様や地域の方々に見守っていただき、子供たちが安心して登下校できましたことに心より感謝申し上げます。各地で子供が犠牲になる事件や事故が相次ぐ中、改めて地域の温かい見守り体制の素晴らしさを実感した一学期でした。今後とも子供たちへの御指導・御支援の程よろしくお願いいたします。

さて、明日から夏休みに入り、子供たちは自由な時間も多くなるとともに気持ちが緩みがちになると思います。子供たちの健康及び安全の確保につきましては、一層の御配意と御指導をお願いいたします。子供たちが楽しく有意義な夏休みを過ごせるよう御指導ください。

夏休みを有意義に過ごすために

- ☆ **交通事故・水難事故にあわない、事件に巻き込まれない行動を・・・！**
- ☆ **早寝、早起き、朝ご飯。規則正しい生活を・・・！**
- ☆ **テレビやゲーム、スマホ等は時間を決めて・・・！**
- ☆ **宿題や自主学習（体験活動も含む）は計画的に・・・！**

これらの生活習慣の確立に格別のご配慮をお願いします。
また、長い休みでなければできない多様な体験ができるとよいですね。

通知表の見方　～やる気を引き出すために～

通知表の目的は子供の頑張りを認め、やる気を高めることにあります。
通知表を見て、いきなり「なんなの？この成績は！」なんて言われたら、やる気を出すどころか逆に「どうせ自分はダメな人間だ」と自己否定をしてしまいます。ですから、まずは良いところを見つけ褒めてあげることから始めてください。

学習の記録から「算数が前よりもよくなってるよ。頑張ってるんだね。」
生活の様子から「あいさつや言葉遣いがちゃんとできているんだね。」
担任の所見から「道徳の授業でいい意見が言えたんだね。」
出欠席の記録から「一日も休まなかったんだよね。えらかったね。」 等

各担任はたくさんの記録をもとに通知表の評価を入れたり所見を記入したりしています。ぜひ、その評価や所見をもとにお子さんのよさを見つけてください。そして、自分のよさに気づかせ、自信を持たせてあげてください。その後、改善できるところを一緒に探してみるとよいと思います。
「ここをもう少し頑張れば○○がもっと得意になるよ！」「どうすれば良くなると思う？（評価が低い所）」など、解決策を親子で考えたり、子供自ら解決策を導き出させたりしてみてください。 決して、押し付けや改善点の指摘ばかりにならないようにも気をつけてください。

子供たちはそれぞれに４月からの７１日間、日々の学習や生活に一生懸命取り組んできたわけですから、「よく頑張ったね！二学期も頑張ろう！」と、労いの言葉を掛けてあげてください。当然ですが、通知表だけで子供のすべてを評価できるわけがありません。通知表はあくまで学校での子供の様子を知る一つの目安と捉えてください。通知表を今後の成長にどうつなげていくかがとても大切です。

・・・裏面もご覧ください。裏面：教頭担当